

平成 29 年度

学校関係者評価報告書

学校法人 M G L 学園

太田動物専門学校

学校関係者評価委員会

平成 30 年 9 月 11 日

1. 学校の現況

学校名 学校法人MGL学園 太田動物専門学校

所在地 群馬県太田市台之郷町 1060-1

設置学科 商業実務専門課程 ペットビジネス学科 定員 80 名

文部科学省の認定 職業実践専門課程

厚生労働省の認定 専門職業教育訓練

2. 学校の特徴

①群馬県内のペット業界の要望に応じて、群馬県初の動物専門学校として設立

②ペット業界の代表団体である全国ペット協会と連携して、ペット業界が求める人材を育成しようと努力していること

③学園附属のペットショップや附属の動物病院実習施設を持ち、実践的な実習を行っていること

④卒業生のペット業界へ就職する割合が高いこと。卒業生でこの分野の有名人を輩出していること

⑤世界のトッププロが毎年来学し講演等をおこなうので、世界のトップの技術及び人間性に学生が直に触れることができること

3. 学校の教育理念・目標

基本精神

「共存共栄」

M i s s i o n (使命)

「業界に必要とされる人材を輩出し、動物業界の発展・繁栄に寄与する」

行動指針

「M」マナー…礼儀正しさ

「G」グリット…やり抜く力

「L」リーダーシップ…思いやり・模範を示す

教育目標

「利他の人」…人の役に立つ人材に

「積極的な人」…自ら考え行動できる人に

「夢を持つ人」…専門性を生かし活躍できる人に

I 評価結果

太田動物専門学校は、専修学校設置基準・職業実践専門課程認定要件・専門実践職業訓練認定要件をはじめ、関係法令に適合しています。

主な優れた点

- ペット業界との連携が良く取れており、教育課程が当該職業分野の期待に応えるものとなっており、高い就職率や資格取得、さらに就職後の活躍に繋がっている。
- 学生全員にタブレット端末を配布しているため、きめ細やかな生徒指導ができ、きめ細かなフォロー体制等が低い退学率・学生満足度につながっている。
- オープンキャンパス等を学生が主体的に運営することにより、ペット業界が求める積極性やコミュニケーション能力をトレーニングする場が与えられている。
- 多数の卒業生がペット業関連企業で活躍するとともに、国別の世界一を決めるワールドグルーミングチャンピオンシップ卒業生が日本代表に選ばれるなど、優れた学修成果をあげている。

主な改善を要する点

- ペット業界の就職の良さ・待遇の良さ・1部上場企業等の存在を進路指導の先生や保護者が知らないのもっと啓蒙する必要がある。
- 警察犬・盲導犬・介助犬・災害救助犬等が非常に不足していることをもっと社会に周知し、将来日本国が困る事態にならないよう努力する必要がある。

Ⅱ 基準ごとの評価

基準1 目的・目標の設定および入学者選抜

- 1-1 学校の目的・目標において、学生が身につける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等が、適切かつ明確に定められているか。
- 1-2 学校の目的・目標が、構成員（教職員および学生）に周知され、社会に広く公表されているか。
- 1-3 学校の目的・目標に沿って、求める学生像や入学者選抜の基本方針等が記載された入学者受入方針が明確に定められ、公表、周知されているか。
- 1-4 入学者受入方針に沿った学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が、適切な実施体制により公正に実施されているか。
- 1-5 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、または大幅に下回る状況になっていないか。その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

【評価結果】 基準1を満たしている。

【優れた点】

- 学校の目的に基づき、愛玩動物の具体的な事業（仕事）に分けたコース設定をしているので、何を目的にした学校か明確なこと。
- 90%以上の高い定員充足率が示すとおり、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られていること。
- オープンキャンパス等を学生が主体的に運営することにより、ペット業界が求める積極性やコミュニケーション能力をトレーニングする場が与えられていること。

【改善を要する点】

【更なる向上が期待される点】

基準2 専修学校設置基準および関係法令等の適合性

- 2-1 教員組織および職員組織の編制のための基本的方針を有しており、それに基づいた教職員の採用および組織編制が行われているか。
- 2-2 教育課程を遂行するために必要な教員が確保されているか。また、専門分野に関し教育上の指導能力があると認められる専任教員が、関係法令が定める数以上置かれているか。
- 2-3 授業科目（課目）が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。教育課程の編成や教育内容が、学生の多様なニーズ、関係業界の発展動向、社会からの要請等を反映したものになっているか。
- 2-4 学生の履修に配慮した適切な時間割の設定等がなされているか。ひとつの授業科目（課目）について同時に授業を受ける学生数が、授業の方法および施設、設備その他の教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられるような適当な人数となっているか。
- 2-5 学生の履修指導および学習相談・助言が、学生の多様性（履修歴や実務経験の有無等）を踏まえて適切に行われているか。
- 2-6 教育課程に対応した施設・設備（図書、視聴覚資料その他の教育上必要な資料を含む）が整備され、有効に活用されているか。
- 2-7 学生支援の一環として、学生がその能力および適性、志望に応じて、主体的に進路を選択できるように、必要な情報の収集・管理・提供、ガイダンス、指導、助言が適切に行われているか。
- 2-8 特別な支援が必要と考えられる者への学習支援、生活支援等の実施体制が整備されているか。

【評価結果】 基準2を満たしている。

【優れた点】

- ペット業界との連携が良く取れており、教育課程が当該職業分野の期待に応えるものとなっている。
- 学生全員にタブレット端末を配布しているため、きめ細やかな生徒指導ができ、退学率が低い。

【改善を要する点】

【更なる向上が期待される点】

基準3 職業実践専門課程の認定要件の適合性

- 3-1 教育課程編成委員会等の委員構成が適切であり、委員会が適宜開催され、その結果が教育課程の内容に反映されているか。
- 3-2 企業等と連携した実習・演習等が適切に実施され、教育課程の中で有効に機能しているか。
- 3-3 教育活動等に関する情報が、ホームページ等により適切に公表されているか。

【評価結果】 基準3を満たしている。

【優れた点】

- 企業と連携した実習・演習は、多くの企業が参加してくれているため、より実践的なものとなっている。

【改善を要する点】

【更なる向上が期待される点】

基準4 内部質保証

- 4-1 学生受入の状況、教育の状況および成果や効果について、自己点検・評価および学校関係者評価が適切かつ組織的に行われているか。その際、学生からの意見、学外関係者の意見や専門職域に係わる社会のニーズが、自己点検・評価および学校関係者評価に適切な形で反映されているか。
- 4-2 自己点検・評価および学校関係者評価の結果が学校内および社会に対して広く公開されているか。
- 4-3 自己点検・評価および学校関係者評価の結果がフィードバックされ、教育の質の改善・向上のための取組が組織的に行われ、教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策が講じられているか。
- 4-4 企業等と連携した組織的な教員研修（ファカルティ・ディベロップメント）および職員研修（スタッフ・ディベロップメント）が適切に実施され、それらが教育の質の改善・向上に有効に機能しているか。

【評価結果】 基準4を満たしている。

【優れた点】

- 教職員研修が毎年計画・実行されていて、成果を上げている。

【改善を要する点】

【更なる向上が期待される点】

基準5 学修成果

- 5-1 単位修得、修了状況、資格取得の状況等から判断して、意図している学修成果があがっているか。
- 5-2 授業評価等、学生からの意見聴取の結果から判断して、意図している学修成果があがっているか。
- 5-3 修了後の進路の状況等の実績や成果から判断して、意図している学修成果があがっているか。
- 5-4 修了生や就職先等の関係者からの意見聴取の結果から判断して、意図している学修成果があがっているか。

【評価結果】 基準5を満たしている。

【優れた点】

- ペット業界企業との連携による求められる人材の育成、専門分野における知識やスキルを取得する教育手法、学生に対するきめ細かなフォロー体制等が、高い就職率や資格取得、低い退学率、さらに就職後の活躍に繋がっている。
- 多数の卒業生がペット業関連企業で活躍するとともに、国別の世界一を決めるワールドグルーミングチャンピオンシップ卒業生が日本代表に選ばれるなど、優れた学修成果があがっている。

【改善を要する点】

- 学生の要望・ニーズを的確に把握するために、組織的かつ定期的なアンケート調査等を実施する必要があります。特に、授業科目ごとのアンケート等によって、学生の意見を聴取し、その結果に基づいて、教材、カリキュラム、指導内容等の改善に資することが必要。

【更なる向上が期待される点】

- 企業や卒業生の意見を組織的に聴取する仕組みを構築することが望まれる。

太田動物専門学校

平成29年度 学校関係者評価委員会

- | | | |
|----|------|-------------------------------|
| 委員 | 佐山 等 | (一般社団法人 日本動物専門学校協会 理事長) |
| 委員 | 青木香奈 | (Dog&CatWaltz 有限会社エム・ジー・エル社員) |
| 委員 | 荻野美樹 | (太田動物専門学校 卒業生) |